

カタチでも見分ける

いきなりシルエットクイズ! 突然ですがクイズの時間です。鴨池でおなじみのカモたちがシルエットで登場します。それぞれのカモがわかるかな…?



正解は①マガモ、②トモエガモ、③オナガガモ、④ハシビロガモでした!...で、なんでいきなりシルエットクイズ?? どうやら鳥たちは同じ仲間を見分けるとき、そのかたちも判断材料にしているようです。12月号で海上は逆光、陸上は順光の世界とお話ししましたが、陸上でも太陽がまぶしくて色がわからなくなることもあります(鴨池も午後からは逆光の世界になることがよくあります)。鳥たちはそんな時でもくちばしや羽のかたちの違いから仲間を見分けているようです。

水上で生活するカモたちも、陸海問わずユニークなかたちの羽やくちばしを持つものがたくさんいます。色や羽の模様だけでなく、かたちでも見分けられるようになったら、鳥の目に近づいているのかも!?

30周年記念講演会での川上和人さんのお話ちょこっとご紹介その②です!

鴨池観察館 開館30周年記念イベント 第3弾のお知らせです。

加賀市鴨池観察館30周年記念事業

ふたつの鳥狽

～鴨狽と環境保全のこれからを考える～

日時: 2015年1月11日(日)13:30~16:00
場所: 加賀市鴨池観察館(参加者入館無料!!)

スケジュール
13:30 開会あいさつ
13:40 「鳥の道を越えて」上映
15:20 パネルディスカッション
16:00 閉会

かつて日本には石川県加賀市に伝わる伝統猟法「坂網狽」のほかにも鳥を捕まえて食べる猟が多く存在しました。その中一つ、1947年に禁止された「カスミ網狽」の記録映画「鳥の道を越えて」を通して、坂網狽と鴨池との関係のこれからを考えていきます。

上映会 鳥の道を越えて (2013年)

パネリスト
安室 知氏 新潟大学文学部教授、現在、全国の環境保全と鳥との関係について長年の立場から講演している。著書に「鳥の道」(2013年)などがある。
今井 友樹氏 1979年岐阜県東白川村生まれ。日本各地の民俗や伝統文化の調査記録活動に関わり、元職人として「鳥の道」を継ぐことが初監督作品。
大畑 孝二氏 日本野鳥の会シニア(野鳥の会会報の編集長)。元職人として「鳥の道」を継ぐことが初監督作品。

主催: 加賀市、(株)加賀市総合サービス

2015年1月11日(日)午後1時30分より
加賀市鴨池観察館視聴覚室に集合!です。

鴨池通信

かもいけつうしん No.257/2015.1

あけましておめでとうございます。今年もガンやカモたち共々、鴨池観察館をよろしくお祈りいたします!!

- 1月号 CONTENTS
- ・鳥の道って何だ??
 - ・カタチでも見分ける
 - ・かもいけ歳時記 睦月
 - ・鴨池のいきもの 1月
 - ・TORI TOPICS Dec.
 - ・イベントあるよ!

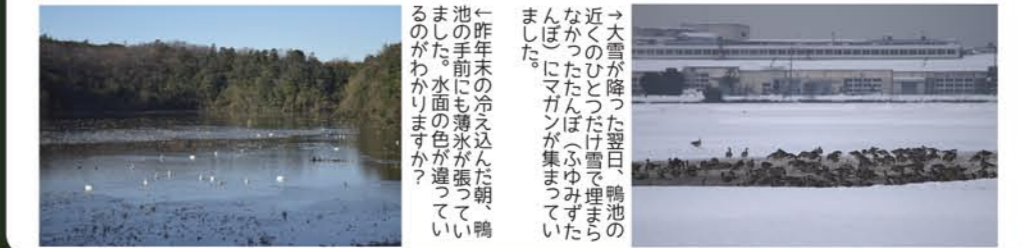


あけましておめでとう

モキよりモミのがすき~



かもいけ歳時記 睦月
年が明けると寒さが一段と厳しくなります。昔ほど雪が積もらなくなっただけ、鴨池が水墨画のような景色になる日も多い時季です。北から渡ってくるガンやカモたちにとつてこれくらいは寒さは平気なようですが、雪が積もると困ることがあります。たんぼが雪に埋もれて、餌場がなくなってしまうことです。こんなときでも水のたまって残った土の見えるたんぼでガンやカモたちがぎゅうぎゅうになって餌を食べていたりします。鴨池の周りには水の溜まりやすいたんぼやふゆみずたんぼがあちこちにあるので、他の地域で大雪が降ると鴨池がガンやカモたちの緊急避難場所のようになることもあります。もつと冷え込みが厳しくなり、池に薄氷が張ったり雪が積もったりすると、いつもは沖にいたるトモエガモたちが前の方まで出てきてくれることも...。



菱の实を喰うからばくら

ヒシクイって名前なんだそーだ。英語だと Bean goose、豆を食べるガンなんだって。鴨池でもヒシの実食べてるんだけどおいしいよ! だからばくらは毎年鴨池に行く。マコモの根っこも食べ放題だし、掘るの大変だけどレンコンなんてごちそうもあるからね。もちろんたんぼのお米も食べに行くけど、鴨池の方がおいしいものいっぱいあるし、1日じゅうどこにも行かずにいることもあるよ。

鴨池のいきもの 1月 ヒシクイ



でさ、ばくらが夢中になってごはん食べてるとよく来るんだ。オオバン。ちっちゃい真っ黒いからだ。ちよこちよこ動き回ってさ、ばくらが掘ったマコモの根っこを横取りしようとするんだよ!! 父ちゃんはこないだレンコン盗られそうになったって。絶対やんないからな!!! ばくら家族みんなでごはん食べてるとこ邪魔されるの嫌なんだよ。オオバンにもほかの家族にもね。だから家族全員であっついけー!! って追い払っちゃうんだ! ...あっ! 鴨池たんぼ今だれもいけなよ!! 父ちゃん! 母ちゃん! 早く行こうよー!!



TORI TOPICS Dec.

- *12月の鴨池に来た鳥・いた鳥・事件などなどハイライトをご紹介します!
- ・アカハラツバメ初認 (5日)
 - ・ミミカイツブリ初認 (12日)
 - ・ミコアイサ初認 (14日)
 - ・オオタカ(若)、オオバン捕獲 (15日)
 - ・ヒシクイ、鴨池たんぼに入る (15日)
 - ・ハイロチュウヒ初認 (20日)
 - ・トモエガモ、1963羽確認 (20日)
 - ・マガン1438羽確認 (26日)

イベントあるよ!

ふたつの鳥狽

左でもご紹介した、記録映画「鳥の道を越えて」の上映会と、坂網狽と鴨池のこれからを考えるパネルディスカッションの2本立て。開館30周年記念イベント、今年もまだまだ続きます!

1月11日(日) 13:30~

※事前のお申し込みは不要です。開始時間までにご来館ください。当日は入館無料です。イベント終了後に坂網狽見学会も行いますが、こちらは坂網狽保存会会員のみ参加可能です。当日の入会も受け付けておりますので、詳しくは観察館までお問い合わせください。

鴨池観察館通信紙 No.257 鴨池通信2015年1月号

発行: 加賀市鴨池観察館
制作編集: 加賀市総合サービス株式会社 田米希久代 櫻井佳明 中野夕紀子
〒922-0564 石川県加賀市片野町子2-1
TEL: 0761-72-2200 FAX: 0761-72-2935
E-mail: kamoike@kagashi-ss.co.jp URL: www.kagashi-ss.co.jp/kamoike/

